

べかぶね

令和2年3月

第319号



浦安市青少年センター 浦安市青少年補導員連絡協議会
〒279-8501 浦安市猫実1-1-1 TEL(351)1111



作品名
「ピーちゃん」

東海大学付属浦安高等学校中部2年
山内 百花

この絵は、今家で飼っているセキセイインコを描いたものです。
セキセイインコの羽は見る位置や光でさまざまな色に見えます。また、黒く大きな目は、いつも好奇心に溢れています。飼い始めて2年になりますが、いつも癒してくれます。そんな鳥が、こちらを見ている姿を描きました。

指導された先生から

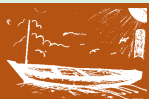
美術科 小口 由里子

山内さんは一年生の時から美術部員として活動してきました。普段は人物やキャラクターらしいものを描きますが、とてもやさしい雰囲気の商品が多いです。今回のセキセイインコは彼女の鳥への愛情が感じられ、かわいく仕上がりました。羽のふさふさした感じや顔の影などよく観察しています。これからも気持ちのこもった作品を描いてくれることを楽しみにしています。

平成30年度浦安市青少年健全育成標語コンクール

最優秀賞 さしのべて その手が人を 救うから 東海大学付属浦安高等学校中部 1年 CHIANG駿南

最優秀賞 あいさつで 笑顔のバトン つなごうよ 明海小学校 6年 江澤 凜



「べかぶね」の名前の由来

べかぶねとは、漁船の中でも一番小さな船で海苔取り舟のことを言う。青少年が社会という荒波をもがきながら必死に生きていく姿が、べかぶねに似ていることから広報紙の名前となりました。

卒業の節目に

浦安市青少年センター運営協議会委員

浦安市立富岡小学校長 勝田 秀樹



私の高校には、全日制(男子校)と通信制(共学校)

があります。入学式は別々に行いましたが、卒業式は合同で行いました。その卒業式での思い出です。

式は三月二日に行われしました。当日の私達全日制の様子です。国立大学の二次試験直前のため、緊張感あふれる者。私立大学に合格し喜んでる者。共通一次(当時)の結果がおもしろくなく、所謂「足切り」にあり、諦めている者。さらに全日制総代の人選をめくり、生徒側と学校側が対立したり、一部生徒による国旗・国歌反対運動のためマスコミが来ていたり、厳粛な卒業式とは異なる様子でした。

式が進行し、件の全日制総代の挨拶が終わり、通信制総代が登場しました。通信制総代は年配の女性でした。彼女

の挨拶で今でも心に残っている部分があります。

「通信制の生徒は年齢も境遇も様々です。卒業するまでの年数にも違いがあります。共通することは、絶対卒業したいという思いです。みんなと一緒に卒業を誓いました

が、残念ながら病気で亡くなり卒業できなかった仲間がいます。」

私は、はっ
としました。
高校に入学・
通学し、そ
して卒業する
ことは大きな
目標であるこ
と。卒業式は厳粛で祝いの場、
そして大いなる節目の場であること。反対に親のお陰で何
不自由なく高校に通い、卒業
していく自分と比較しました。
今でも思い出すと、ほろ
苦い思い出です。

この春、卒業していく皆さん。人生の節目を大切にしてください。



千葉県青少年補導員連絡協議会理事宿泊研修に参加して

浦安市青少年補導員連絡協議会副会長 森本 健二

11月15〜16日で県補連の理事宿泊研修に、上平会長と二人で参加してきました。

この研修は各市の会長や副会長などが参加する研修会で、今年は37名が参加しています。千葉駅前集合してバスで横浜に移動し、横浜少年鑑別所を視察、その後、横須賀に移動して宿泊ホテルで理事会があり、夕食時に懇親会がありました。翌日は、世界三大記念艦の「三笠」を見学後、フェリーで金谷に渡り、バスで移動し千葉駅にて解散でした。鑑別所では法務技官の天津留氏が鑑別所の位置づけから施設内容や最近の傾向などの説明と施設案内をしてくれました。

施設の定員は139名ですが、現在は男子が30名、女子が8名で、約四分の一の入所で、年間では約570名〜580名の入所者があるとの事です。施設は平成12年に建替えられていて、三畳の個室や風呂などもとてもきれいでした。ここ数年は共犯者のある非行、不良集団の非行、薬物などが減少傾向で特殊詐欺のケースが増加傾向にあるとの事でした。また、入所者には性的制約や発達上の凸凹、知的障害などの傾向もあるとの事でした。

長くて一か月の監察期間中に、少年の心身状況について科学的な鑑別方法による検査を行い、この調査結果に基づき裁判官が

非公開で審判を行うとの事ですが、少年院に送るかどうかが、審判での受け答えを見てから最終結論を出すこととも珍しくなく、審判に二時間以上もかかる場合もあるそう、中には出戻りでの審判で、本人は少年院送りを覚悟していたが、鑑別所での調査結果や審判での受け答えを見て保護観察になったケースもあったそうです。

鑑別所の視察の後
に隣の横浜刑務所の
刑務所作業作品売店
に立ち寄りしました。こ
こでは受刑者が製作
した家具や陶器、箸な
どの生活用品小物、石
鹸や乾麺うどんなど、
色々なものが一般に
販売されていました。

今回の研修では、各
市の会長さんや副会
長と顔見知りになり、非常に有意義な時間
をもたせて貰いました。宿泊を伴うと時間
の都合もあり参加をためらいがちになりま
すが、宿泊して懇親会があることで親睦が
深まり、朝食時や昼食時にも色々な話が聞
けて様々な情報交換ができるので、今後も
続けて行ってほしい研修だと思います。



県下一斉広域列車パトロール

11月8日(金)浦安駅、新浦安駅、舞浜駅の3駅にて「県下一斉広域列車パトロール」が行われました。

駅構内や列車内及び駅周辺のパトロールを実施し、通勤・通学する青少年たちに「愛のひと声」をかけ、実態を把握するとともにマナーの向上、非行防止、健全育成に努めるという趣旨のもと、浦安市内の高校の先生方にもご協力いただきました。

高校の先生方と一緒に活動することで、市内だけでなく、市外に住む青少年にも私達の活動を知ってもらうことができ、有意義な時間になったと思います。今後とも学校との連携を強め、青少年の健全育成に努めてまいります。先生方の、生徒に対する一部服装の乱れや、歩きスマホ、イヤホンをしながらの歩行をやさしく指導する場面がありました。また、帰宅途中で先生を見かけ、驚く様子も見られました。



浦安駅



新浦安駅



舞浜駅

市川市・浦安市隣接地域補導関係者連絡会

隣接市との連携を図り、青少年の行動範囲の広域化に対応するために開催されている千葉県青少年補導(委)員連絡協議会の行事です。

今年度は12月13日(金)に両市の補導員とセンター職員合計20名が参加して市川市で開催されました。

今回は、会議形式でなく「日々パトロールしている場所の状況を理解する」との目的で市川市内だけでなく、市外からも多くの方々が訪れるというアイ・リンクタウンの見学、日中の懸け橋となった郭沫若記念館などを視察しました。視察中の情報交換を通じて、具体的な危険箇所の把握や、普段気に留めなかった事項も知ることができました。現在は、たばこやお酒の販売の厳格化、たばこを吸う若者の減少などにより、飲酒や喫煙による補導は見られなくなりましたが、SNS関連のトラブルは増加傾向です。両市は、東京に隣接しているなど環境面においても共通点が多いことから、相互協力をする中で、より効果的な補導活動が出来ると思います。



両市補導員



アイ・リンクタウンにて

千葉県青少年補導(委)員活動50周年記念祝賀会

2月1日(土)に千葉市の三井ガーデンホテルにおいて、千葉県より県民生活・文化課長木村小絵子氏、児童生徒課長中西健氏はじめ沢山のご来賓、現補導(委)員、OB・OGなど関係者約200名が参加し50周年を祝い開催されました。

一口に50年といっても、その歴史は古く、昭和45年9月に千葉市で、千葉県補導員研修会という名称で第1回がスタートしたのがはじまりの事です。

会場では、各々旧交を温めたり、過去の活動をスライドで振り返るなど、半世紀に及ぶ活動の歴史がありました。

この間、青少年を取り巻く環境は大きく変わりました。日々の補導活動を継続してきたことで、現在では、非行行為は減少していますが、これからは思いを一つにして、未来を担う青少年が健やかに育つことを願い、力を合わせて非行のない明るい社会の実現に取り組んでいきます。三部会長はじめ、市川市少年センターの職員の皆様には、ご尽力いただき心より感謝と御礼を申し上げます。



三部会長挨拶



浦安市からの参加者

令和元年度青少年補導員情報交換会

2月7日(金)に浦安功徳林において開催されました。及川力副市長、鈴木忠吉教育長、浦安警察高谷生活安全課長等多くの関係者のご臨席を賜り補導員28名と合わせて、総勢38名参加のとても賑やかな会となりました。

最初に、令和元年度の青少年補導員の活動報告がされ、来賓のご挨拶では、「日頃の活動に感謝を申し上げます、今後も青少年の健全育成のために尽力いただきたい」とのお言葉がありました。

その後、歓談に移りましたが、情報交換や情報共有のみならず、様々な意見交換がされ、各テーブルとも大いに盛り上がり、より一層親睦を深める事が出来たことと思います。

このように、青少年の健全育成活動に関わる方々が一同に顔を合わせることで、顔の見える交流ができ、今回新たに得た情報などから、補導員も多くのことを学び、そして補導活動の活性化につながります。





子どもたちが主役のまち

子どもがつくるまち@うつらやす実行委員長 近藤 祐介

年に2回、浦安市内に子どもだけが過ごせる大人立ち入り禁止(あくまで任意)の町が出現します。今年度は、9月21日(土)にJR新浦安駅前広場、10月19日(土)・20日(日)に浦安市民まつり会場内で開催しました。

この町では、子ども達は「働く」「遊ぶ」「学ぶ」を体験できます。「働く」と「ねこ」というこのまちだけで使えるお金が得られます。それを使うと食べ物を買えたり、ゲームで遊んだり、モノづくりができたりします。選挙もあつたり、税金もあつたりで、参加する子ども達は挑戦する楽しさと社会の仕組みや社会への参加について学ぶ事ができます。今年度のキックオフは、5月でした。まずは町のしくみをつくる公共を担う子ども達が集まり、公共について学んだり、まちの基本となるルールを決めたり、そしてシーズン1の市長が選ばれます。7月に入ると今度は、町で社長や店長となり、参加する子を楽しませてくれる子ども達が加わり、市内小学4年生以上中学生の総勢100名を超える子ども達町のオープンに向けて準備しました。



首脳会議

め土曜日1日のみの開催となりましたが494人が、シーズン2では2日間で835人が住民登録しました。オープン前には行列もでき楽しみにしている子どもも多い事に驚きました。住民受付も子ども達で行います。毎年、この市民課の子達が大変なのです。まずは、お金の受け取り、市民カードとねこを渡してから、初めて参加する小学1年生でも分かるように町の説明をして、さらには、大人の方になぜ入れないかをお話するとともに子どもさんを見守ってほしいとお願ひします。苦情も全て市民課の子達が受けま

す。大人もすぐそばにいてフォローはしますが、自分たちの町という意識からなのか大人を頼らず、自分たちで解決しようとする。また、ごみゼロ課では、町をキレイにする仕事をするともに環境にちなんだゲームを行い、実世界に戻ってからも役に立てる学びを提供しています。シーズン2になるとエコバックづくりもやっています。ハローワークでは、働きに来た子



アイデアいっぱい



本物のハローワークみたい!

たちに各店舗を回ってもらって、働ける場所を探してくれます。それが、一番の課題である雇い止めを防ぐ役割もあります。公共の子達は、町に来てくれる子達の事を考えて動いています。各店舗の子達も町を盛り上げてくれます。一日中、町で楽しく過ごせるように色々な店舗がありま

す。食べ物屋さんでは、パンケーキ、ラーメン屋、たこ焼き屋とか、遊園地では、射的屋、ストラックアウト、ヨーヨー。その他、お化け屋敷、花屋、漫画喫茶といった子どもが喜びそうな店ばかりです。平成28年度から開始したこの町も、今年度で早4年目です。浦安の子とも達にも少しずつですが、知られてきたのではないかと思います。また、問題は山積みですが、一歩一歩内容を見直して進化していきたいと考えています。また、子ども達には様々な年齢・地域の子とも同士の関わり合いの中で、お互いの違いを認め合い、ぶつかりあったり協力し合ったりしながら人との関係性を学ぶ事と自分たちが決定して行動し、達成することにより責任感を学んで欲しいです。最後に、この町に関わる浦安の子とも達が大人になっても参加したいと思えるような場所にした



来年もがんばるぞー!

クリスマスラン

12月14日(土)、浦安ランナースクラブの子とも達による「クリスマスラン」が行なわれました。これは、毎年この時期の恒例で、サンタクロースやトナカイなど思い思いの仮装をした子ども達も、東京デイズニールゾートの周りを走るという催し

です。当日は快晴に恵まれ、浦安市運動公園を出発地に約6kmのマラソンがスタート!今年

の最年少参加者は幼稚園の年中。すれ違う人に「メリークリスマス!」と声をかけながら走ります。駅の利用者やデイズニールゾートへ向かう観光客の誰もがサンタの集団に最初は少し驚き、その後笑顔になって、頬を赤らめながら一生懸命に走る小さなサンタ達を応援してくれます。中には遠いホテルのベランダや、車の窓を開けて声援をくれた人もいました。このイベントは今年で6回目。リゾート地・浦安ならではの見た人に楽しい気分になつてもらえるこの取り組みをこれからも続けていきたいとのことでした。





犯罪被害に 遭わないために！

浦安警察署生活安全課

今回、浦安警察署から市内で多発している自転車の盗難防止、そしてSNS等に伴う犯罪被害防止についてお知らせします。

●浦安市内の自転車盗難について
昨年の浦安市内の自転車の盗難は、約500件で、これは市内の犯罪の約4割にのぼります。

さらに、盗まれた自転車のうち、鍵をかけずに被害に遭った自転車は、全体の約6割を占めます。

犯人は、鍵のかかっていない簡単に盗める自転車を狙っています。

●自転車の盗難被害防止のために

○短時間でも鍵をかける
「少しだけなら。」と鍵をかけずに駐輪することはありませんか？短時間でも必ず施錠をしましょう。

○自宅でも鍵をかける
自宅の敷地内等に駐輪する際に、鍵をかけずに盗まれるケースも多くなっています。自宅でも施錠を！

○鍵はツーロック！（二重施錠）
駐輪する際は、元々設置してある鍵にもう一つ鍵を加え合計2個の鍵をかけるツーロックをお願いします。

●SNSに起因する被害防止について

現在、SNS等を利用した子供の犯罪被害が、スマートフォン等の利便性向上に伴い年々増加傾向にあります。

実際に、SNS等で知り合った大人に言葉巧みに騙され、自己の裸の画像を送信させられ、それを元に脅されたり、中には誘拐等の凶悪事件にまで発展するケースもあります。

SNS等の利用には、利用者自身の注意が必要です。設定によっては、誰もが閲覧出来る状態となり、投稿場所等が特定されてしまう場合もあります。また、流出した情報は、すべてを回収・削除



することは出来ませんし、ましてや、その情報自体が真実とは限らないのです。

被害を防ぐために保護者の皆様には、子供達に危険性等を理解させると共に、有害な情報を閲覧できなくする「フィルタリング」等の機能制限の活用、子供の発育に合わせたネットの使い方を考え、**家庭内でのルール**を決めましょう。皆様が安心して暮らせますようご協力をお願いします。

令和元年度文化の日 千葉県功労者表彰

11月3日（日）の文化の日に、千葉県

功労者表彰が県議会議場で開催され、浦安市青少年補導員連絡協議会の上平紀子会長が県民生活功労部門を受賞しました。この表彰は、それぞれの分野で顕著な功績を挙げて、県の発展に多大な貢献をされた方や団体を表彰するものです。上平会長は、昭和60年に教育委員会から青少年補導員の委嘱を受け、35年近くの長きにわたり、街頭補導活動を行い、更に理事や副会長を歴任するなど、会の発展に尽力されこれらの功績が認められたものです。

今回の受賞にあたり、「将来を担う青少年の成長のために、これからも学校や家庭、警察などと連携し、子ども達が安心して安全な生活を送れるように愛情いっぱい愛のひと声をかけていきたいと考えています」と話していました。

また、内田市長へ報告のため表敬訪問を行い喜びを語りました。市長からは、これまでの功績に対するねぎらいの言葉と、今後も青少年の非行防止・健全育成にご尽力をお願いしますとお話がありました。



教育功労賞受賞

11月21日（木）に令和元年度教育功労者表彰式が開催されました。

これは、教育・学術・または文化の振興に尽力された方々に対して感謝の意を表すために行なわれているもので、今年度は16名、2団体が受賞されました。青少年補導員からは、笠井和枝さん、山澤久子さん、大屋美智子さんが永年の青少年への非行防止及び健全育成のご尽力の功労により受賞されました。

受賞された3名からは、「受賞は大変名誉なことと思っており、関係者の皆様に感謝を申し上げます。青少年補導員になった頃に比べて、子ども達を取り巻く環境は随分と変わりましたが、日々青少年と同じ目線で「愛のひと声」をかけています。これからも、地域の方々と協力しながら、補導員活動の幅を広げて継続していきたいと考えています。」との喜びのコメントをいただきました。受賞されたみなさん誠にありがとうございます。





世界一行きたい科学広場in浦安2019

東海大学付属浦安高等学校 教諭 寺田 耕司

2019年11月16日(土)、「世界一行きたい科学広場in浦安2019」が東海大学付属浦安高等学校を会場に開催された。このイベントは、浦安市から全国に科学を広めようというスローガンのもと、内田悦嗣浦安市長を大会会長として開催されているもので、今回で第8回目を迎えた。

熱気に包まれた会場では、大学や研究機関、博物館、企業、学校の科学クラブの方々が、実験や体験のコーナー、研究発表、企業は科学的な商品の展示説明などを披露してくれた。

浦安市内の学校からは堀江中学校科学部が「フィンガーカメラの作成」という工作体験コーナーを開設し、小さな子供たちに対して、優しい言葉で丁寧に作成を手伝っていた。浦安中学校の「分光万華鏡作り」というコーナーでは、子供たちは自作した万華鏡の映し出す不思議な光景に見入っていた。また、市内の小中学生の科学作品の優秀作品の展示や浦安市教育委員会理科部会による「化石を



僕の水口ケット飛ばかな？

発掘しよう」などの出展があった。他にも、浦安市図書館、警察署、郷土博物館を始め、浦安ベークマクラブ、浦安貝アート工房などのボランティア団体も参加してくれた。その他のブースでは「水ロケットを自作して飛ばそう」、「電子工作でクリスマスツリーを作る」、「スライム作り」、「水辺の生き物に触ってみる」、警備会社による「最新のセキュリティシステムの体験」や出版業者による「デジタル教科書」の披露などもあった。



岩石の中から化石をとりだそう

どのブースも大変魅力的で、科学の不思議さ、面白さを体験できるものばかりであった。全部廻り切れないのが残念であるという声が多く聞かされた。お昼休みには体育館の壇上でサイエンスショーが行われた。東海大学付属浦安高等学校サイエンスクラスの森君が光の織り成すいくつかの実験を披露し、来場



者にはプロジェクトターの原理がわかるミニ実験セットを持ち帰っていた。参加ブースは39団体で、来場者は1015人であった。皆さんからは「科学のおもしろさを体験できた」、「もっとブースを増やしてほしい」、「来年も出展させてください」など、実行委員を励ましてくれるようなコメントを数多くいただいた。



ミニプロジェクター出来たかな

最近はこのようなイベントが各地で開催されるようになったが、地元浦安の方々が気軽に来場でき、科学の面白さ、楽しさに身近に触れられることに大きな意義がある。私は実行委員として、実際に運営に携わったが、当日の子供たちの真剣なまなざしを見て、このイベントは今後も続けていかなければいけないと実感した。来年には第10回目を迎える。何か記念になる内容を織り込もうと考えている。このイベントを運営に携わってみたいという方がいましたら、ぜひご連絡をいただきたいです。



指紋はこうやってとるんだよ

令和元年度青少年健全育成 標語コンクール表彰式

会長賞作品 (中学校の部)
明海中学校 3年 小原百桃香
「あいさつできっとその日は晴れになる」

会長賞作品 (小学校の部)
南小学校 5年 石井翔太
「大丈夫！ キミのとなりにはほぐがいる」

市長特別賞作品
入船中学校 2年 中村 滯
「考えよういじりといじめの境界線」

12月4日(水) 文化会館大会議室で、表彰式が行われました。私立校を含む市内小学校5・6年生及び中学校全学年から合計7,431点が寄せられ、この中から、会長賞2作品、市長特別賞1作品、最優秀賞24作品に表彰状等が贈られました。今年度は、あいさつの大切さ、いじめをなくす、メールでなく会話をしようといった内容が多かったようです。これも時代背景でしょうか。

受賞作品は本誌の表紙などでも紹介させていただきます。受賞された方々、関係者の皆様本当におめでとうございます。



令和元年度浦安青少年健全育成標語コンクール表彰式

青少年補導員のつぎやき

平成から令和へ新しい年号に変わり、気持ちも新たになりましたが、何が変わったのか正直な所分かりません。

今後の補導員のパトロールの仕方をも一度考え直して行くべきだと思う。時間とエリアを季節によって変えるとか。何度か警察の方と学校の先生とパトロールを行いました。



是非毎回は無理でも月に1回くらいは参加お願いしたいです。(H・Y)

春は恥ずかしそうにしていた新一年生も、「おはようございます」と大きな声であいさつをしてくれるようになりました。先生方や地域の方々のご協力もあり、いつも特に何事もなく朝パトロールは終了します。



この当たり前の日常がとても素晴らしいことで、いつまでも続くことを日々願い今後も見守っていきたいと思います。(M・H)

始業式・早朝パトロール

暖冬とはいえ、北風が吹く寒い日でしたが、寒さに負けずに子ども達は、元気に登校していました。青少年補導員は校門付近に立って声かけを、市では青少年センター・市民安全課・保健体育安全課が相互連携しながら、登校時間に合わせて、6日から一週間にわたりパトロールカーに乗って市内全域の巡視活動を行いました。幸いにして、不審者を見かけることや、事故もありませんでした。

また、浦安警察署も随時パトロールしてくださっており、時折すれ違いますが、昨年も子ども達が巻き込まれる事件・事故が多く報道され、尊い命が奪われた例もありました。それを防ぐには地域の大人ひとり一人が子どもを見守り活動を理解し、見守り役としての役目を果たしていただけるような環境作りが必要かと思えます。すなわち地域力です。

今年も、オリンピックキヤーできっと記憶に残る年になります。地域全体で子ども達を守りましょう。

青少年センター職員パトロール

児童・生徒の下校時に合わせた市内巡回や不審者情報に基づき実施しています。昨年末より中町地域の戸建住宅を中心に空き巣被害が多発していることから、市では一月から二

月にかけて防犯パトロール車を使った巡回パトロールを強化しましたが、青少年センターでも重点的にパトロールを実施しました。

中央パトロール

○12月11日(水) Bパトロール
青少年館や東野児童センターなどを巡回して、利用状況や行動の傾向について職員と情報交換を行いました。

○12月16日(月) Cパトロール
中町地区を中心に徒歩及び青パトロールカーでの巡回でしたが補導対象となる事案はありませんでした。
○12月20日(金) Aパトロール
冬休みが近いことから、子ども達のためり場となりやすいゲームセンター等を中心に巡回し、店舗の方に協力依頼を行いました。

パトロールの実施時間

Aパトロール	10時～12時
Bパトロール	14時～16時
Cパトロール	16時30分～18時30分
Dパトロール	19時～21時

補導の状況

(平成31年4月1日～令和2年1月31日)

行為別	人数
怠学	0
喫煙	0
飲酒	0
たむろ	0
夜間ゲームセンター	0
自転車二人乗り	62
自転車危険走行等	413
帰宅指導	35
その他	12
合計	522

地区パトロール

(10月～1月までのパトロール日誌より)

浦安中ブロック

毎月2回中央公民館に19時に集合してパトロールをしています。
主に公園を中心に猫実地区と当代島地区・北栄地区の二ヶ所を交互に浦安駅までパトロールしています。

毎回、子どもの姿はほとんど見受けられず静かなパトロールをしています。1月の早朝パトロールは浦安中学校でした。元気に大きな声であいさつを交わしながら登校していました。

堀江中ブロック

月2回2班に別れパトロールを行っています。1班は堀江地区、2班は富士見から舞浜地区を19時頃となります。うしお公園で、子どもが2人遊んでいましたので声をかけたところ、保護者は、公園入口付近でポケモンゴーを4人でやっています。別の日では、やはりうしお公園で高校生カップルがベンチに座って話をしていたので早く帰るように声をかけました。無灯火自転車は相変わらず多く、この時期、危険なので、しっかり注意してパトロールしてい

きたいと思います。
 早朝パトロールは、1月6日に南小の正門で行いましたが、声をかける児童数が多くやりがいがありました。

見明川中ブロック

帰宅チャイムが鳴るようになったこの時期は、まだ夕方でも明るかったのですが、2ヶ所の公園で遊んでいる小学生を見かけたので早く帰るよう声をかけると素直に応じてくれました。

富岡中ブロック

朝は、東野小学校前を中心に登校の見守りを行い、その後パトロールを実施しています。元氣よく挨拶を返してくれる子が以前より増えたように感じます。夕方のパトロールは、富岡・東野地区の公園や広場を中心に回っています。

寒くなり、小学生以下の子ども達を見かけることは少なくなりました。10人以上の中学生が広場に集まっていたため「暗くなつたので、早めに帰宅してね」と声をかけました。その後、自転車に乗り、帰って行く様子が見られました。

美浜中ブロック

夕方4時から公園を中心にパトロールを行いました。冬休み初日と

いうこともあり、たくさん子ども達が遊んでいました。美浜東エステート内のブランコで遊んでいた女の子3人に声をかけると「私たち小学5年生！」と元氣に答えてくれました。

4時半に帰宅を促す放送が流れると、遊んでいた子ども達は家に帰り、公園は急に静かになりました。

パトロール 日誌



入船中・高洲中ブロック

高洲公民館に集合し、高洲北小学校などを回り高洲北小学校裏を歩いていると、小学生が自転車並走していたので声をかけました。小学生の男の子3人が境川の川岸まで降り、満ちてきた水に足首まで浸かり力二採りをして遊んでいたのが、滑って危険なので止めるよう注意

し、暗くなってきたので早く帰るよう声をかけました。

日の出中ブロック

日の出中ブロックではPTAや地域のボランティアの方による交通安全運動やパトロール活動をよく目にします。交番の警察官も車両やバイクでパトロールして下さいます。

不審者情報のない状況が続いているのは、こうした活動に支えられていると感じます。

これからもこの状況が続いて欲しいと思います。

明海中ブロック

冬休み明けの校門（明海小・明海南小）2班に別れて立ちました。

寒そうにポケットに手を入れたり背を丸めて登校する子ども達を見ていると正月休みから身体が抜け出していない様に思えましたが、「おはよう」と声をかけるとパツと顔をあげて返事を返してくれるのが印象的でした。冬は、4時半頃には、陽が落ちるので無灯火の自転車も目立ちましたが、声をかけると灯りをつけてくれる大人や子ども達がいるのも嬉しかったです。公園も寒いせい子ども達の姿はあまり見かけませんでした。

第3回ブロック会議

2月6日（木）から21日（金）の間の5日間に各ブロックごとに「第3回ブロック会議」が開催されました。今年度のパトロール活動における振り返りや、地区の青少年の状況について情報交換を行いました。

また、青少年補導員の親しみやすい愛称や、補導員制度が来年度から変わることなどについても話し合いがされました。現補導員の任期は、5月31日までとなりますが、これまでの取り組みをしっかり受け継いでまいります。今後とも連携・協力をよろしく願います。

行事予定

4月7日（火）
 始業式・早朝パトロール

雑感

香川県では18歳未満の子ども用のインターネットやゲームの利用時間を制限する条例を検討していて、制定されれば全国初だそうです。

平成から令和へ、時代の流れと共に子ども達をとりまく環境も変化しています。

ネット社会から子どもをどのよう守っていくべきか考えさせられました。
 (K・N)

